

# よくある質問 FAQ

## Q1 このプログラムは文系の学生でも受講できますか？

**A1** はい。全 14 学部の学生を対象としたプログラムです。入門教育では、法学・文学・経済学・外国語・政策・人間健康など、文系を含む幅広い専門分野における AI・データサイエンスの活用事例を、各学部の教員がリレー形式で紹介します。数学やプログラミングの事前知識は不要です。

## Q2 授業はどのような形式で行われますか？

**A2** オンデマンド配信で実施します。毎週、関大 LMS を通じて授業資料の配布・小テスト・質問受付が行われ、自分のペースで受講できます。

## Q3 プログラムを修了するにはどうすればよいですか？

**A3** 入門教育（リテラシーレベル）は、春学期「活用法を見聞する AI・データサイエンス」と秋学期「活用法を体験する AI・データサイエンス」の 2 科目 4 単位を修得することが修了要件です。実践基礎（応用基礎レベル）は、「社会のためのデータサイエンス実践基礎」と「AI・データエンジニアリング実践基礎」の 2 科目 4 単位です。

## Q4 プログラムを修了するとどのような証明がもらえますか？

**A4** 入門教育（リテラシーレベル）の 2 科目 4 単位を修得した学生には、関西大学公認のデジタル証明証（オープンバッジ）が発行されます。修得条件を満たした年度の終わりに発行手続きが案内されます。オープンバッジは国際標準規格に基づくデジタル証明で、履歴書や SNS 等で自分のスキルを証明するのに活用できます。

## Q5 入門教育と実践基礎では何が違いますか？

**A5** 入門教育（リテラシーレベル）は、文系、理系、文理融合の全学の教員がそれぞれの専門分野での AI・DS 活用事例を紹介する「見聞」と、機械学習・ニューラルネットワーク・ディープラーニング等の AI 技法を実例で学ぶ「体験」の 2 科目で構成されます。実践基礎（応用基礎レベル）は、データ収集から前処理・分析・可視化・アプリケーション開発までの一連のプロセスを学ぶ「データサイエンス実践基礎」と、深層学習・ファジィ理論・MATLAB 等の AI・データエンジニアリング技術を体系的に学ぶ「AI・データエンジニアリング実践基礎」の 2 科目で構成されます。

## Q6 各学部独自のプログラムとの関係はどうなっていますか？

**A6** 全学共通の入門教育・実践基礎は、すべての学生が AI・DS の基礎を身につけるプログラムです。その上で、商学部・システム理工学部・総合情報学部・ビジネスデータサイエンス学部では、さらに高度な専門教育プログラムを独自に展開しています。全学共通プログラムで基礎を固めた後、所属学部の専門プログラムへ進むことで、より実践的・専門的なデータサイエンティストとしてのスキルを身につけることができます。